

日本海中南部の海域活断層の 長期評価に関する資料

令和7年4月18日（金）
第34回海域活断層評価手法等検討分科会

■ 本日の議題1の審議の流れ

1. 前回の議論の確認
2. 評価文（案）に関する議論
 - 特性表について
→ 海活34参考資料1-4
 - 長期評価部会からの意見と回答案について
→ 海活34参考資料1-5
 - 「舟状海盆」と「トラフ」の用語の使い方の整理について
→ 海活34参考資料1-6
 - その他の変更点について
→ 海活34参考資料1-2
3. 事務局資料「ポイント（案）」と「概要（案）」について
→ 海活34参考資料1-7・海活34参考資料1-8

1. 前回の議論の確認

特性表について

- ✓ 下端の深さの数値の根拠が分かるように評価文に記述する
- ✓ 下端深さの欄を設ける

富山トラフ横断断層の変位速度の推定について

- ✓ 灰爪層基底の年代を2Maとして、変位速度を推定することを確認

能登半島北岸断層帯の変位速度及び地震発生確率について

- ✓ 猿山沖区間についても輪島区間や珠洲区間と同様に過去6000年間のうちに3回の地震があったとする
- ✓ 平均活動間隔を1500年や3000年としても今後30年以内の地震の発生確率が変わらないことを示す図をつける→図21

1. 前回の議論の確認

短い断層の活動度について

- ✓ 一律にC級を改定するわけではなく、断層に応じて、C級とする、隣接する断層の平均活動度を用いるなど、個々の断層に応じた平均活動度を仮定することにする。結果として一律にC級を仮定する場合に比べ、確率が若干上がることになる

活断層に基づく地震発生確率について

- ✓ 活断層を特定しない地震の発生確率の計算方法について確認した。

可能性のある構造の追加・名称変更について

- ✓ 隠岐海嶺南縁若狭海丘列北（L1）について議論。そのまま記載することを確認

2. 評価文（案）に関する議論

- 特性表について

→ 海活34参考資料1-4

- 長期評価部会からの意見と回答案について

→ 海活34参考資料1-5

- 「舟状海盆」と「トラフ」の用語の使い方の整理について

→ 海活34参考資料1-6

- その他の変更点について

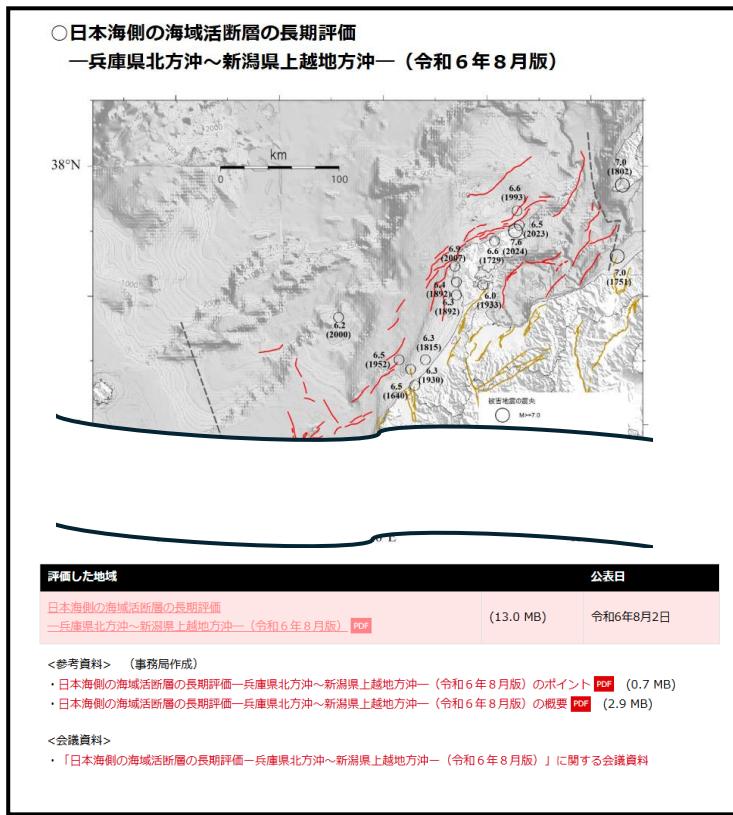
→ 海活34参考資料1-2

3. 事務局資料「ポイント（案）」と「概要（案）」について

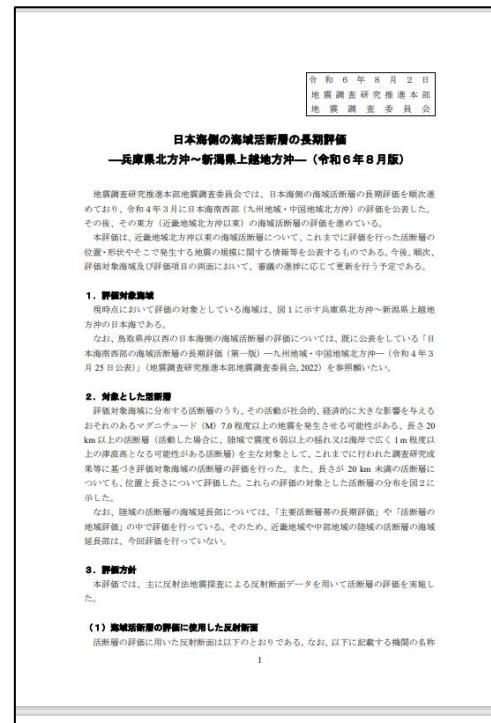
- **評価文**
 - **ポイント**：評価文のポイントを1ページでまとめたもの（事務局作成）
 - **概要**：評価文の概要を10ページ程度でまとめたもの（事務局作成）

※今回は公表に合わせて南西部と中南部の「簡便法震度分布図」(事務局資料の位置付け)を公表

HP



評価文



ポイント



概要

